

高校生による
「特殊詐欺防止啓発活動」
に関する報告書

2023 年度 栃木県立小山城南高等学校

目次

活動の趣旨・経緯	2
学校概要	3
実施スケジュール、実施概要	3
活動レポート	
* 5月	
間々田ひも 組紐体験講習会の実施	4
小山警察職員による「特殊詐欺防止啓発勉強会」の実施	5
* 6月	
啓発グッズの制作（間々田ひもストラップ・チラシなど）	6
小山市職員による「おやま・まちづくり出前講座」の実施	7, 8
特殊詐欺防止啓発活動の実施（思桜会輪投げ大会）	9
特殊詐欺防止啓発活動の実施（ヨークベニマルおやまゆうえんち店）	10
* 7月	
特殊詐欺防止啓発活動の実施（おやまサマーフェスティバル 2023 盆踊りマルシェ）	11
* 8月	
特殊詐欺防止啓発活動の実施（JR 小山駅）	12
* 9月	
特殊詐欺防止啓発活動の実施（城南祭）	13
* 10月	
特殊詐欺防止啓発活動の実施（ヨークベニマルおやまゆうえんち店）	14
* 12月	
特殊詐欺防止啓発活動の実施（小山商工会議所青年部主催イベント）	15
栃木県高等学校家庭クラブ連盟 第 72 回研究発表大会	16
* 1月	
キャリア教育発表会	17
* 2月	
令和 5 年度交通安全・防犯・暴力追放市町民大会 小山警察署・小山地区防犯協会から感謝状贈呈	18
各媒体における紹介	19
活動に対する表彰	19
啓発グッズの配布実績	20
アンケートまとめ（2023 年 7～9 月イベント等来場者に実施）	21, 22
1 年間のまとめ	23, 24

活動の趣旨・経緯（全国銀行協会から）

本取組みは、学校家庭クラブ等の枠組みを活用して、生徒自身が特殊詐欺の被害が身近なところで起きている問題であることと捉え、その防止策等について理解し、生徒自身が考えた「特殊詐欺防止啓発活動」を地元地域で実践することで、生徒による社会貢献活動、ひいては地域における「特殊詐欺防止啓発活動」の自立的な広がりを期待したものである。全国銀行協会（全銀協）は本取組みに関して、支援金の拠出や、活動に当たったの各種アドバイスや資料提供などのサポートを行うこととしている。

本取組みは、①「消費者教育に関する基本的な方針」（2013年6月閣議決定、2018年3月変更）において、金融経済教育と連携した消費者教育を推進することが重要であることが示されたこと、②学校教育において、課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習の重要性が高まっていること、③全銀協の金融経済教育活動懇談会（2015年2月開催）において、学校家庭クラブの活用、特殊詐欺防止をテーマとした生徒による教材制作について提言があったこと、などを踏まえ、2016年度より導入したものであり、以下のような効果を期待している。

- 対象層数の拡大…金融経済教育に取り組む学校・教員・生徒数の増加
- 教育現場との連携強化…教育委員会・家庭科教員との新たなパイプ作り
- アクティブラーニングの実践…高校生が主体的・協働的に学ぶ学習機会の提供
- 金融犯罪防止啓発活動の効果…高校生が考える防止啓発活動の実践
- 対外PR力の向上…高校生による活動報告公表による広告効果

8年目となる2023年度は、栃木県教育委員会下で実施校を募集し、栃木県立小山城南高等学校に「特殊詐欺防止啓発活動」を委嘱した。

学校概要

■沿革

- 大正 11年 小山女子実業補習学校として開設（小山第二尋常小学校内）
昭和 23年 小山女子高等学校と改称 現在の校地に移転
昭和 26年 栃木県立小山城南高等学校と改称
平成 18年 女子普通科募集停止 男女共学の総合学科を新設

■校訓

一隅を照らす

■学校教育目標

自らの可能性を発見し、生涯にわたって主体的に活動する意欲をもち、社会の変化に対応して自己の実現を目指す心豊かな生徒を育成する。

■目指す学校像

- 総合学科として、個々の生徒が自らの興味・関心や能力・適性に対する理解を深め、自分自身の将来像を見据えたうえで、進路実現できる学校
- 特別活動や部活動に積極的に取り組むことにより、集団や社会の一員として望ましい人間関係を築くことができる学校
- 学習活動や学校生活の様々な場面をとおして、現代社会において求められるコミュニケーション能力を育成できる学校

実施スケジュール

5月	・間々田ひも 組紐体験講習会の実施 ・小山警察職員による「特殊詐欺防止啓発勉強会」の実施
6月	・啓発グッズの制作（間々田ひもストラップ、チラシなど） ・小山市職員による「おやま・まちづくり出前講座」の実施 ・特殊詐欺防止啓発活動の実施（思桜会輪投げ大会） ・特殊詐欺防止啓発活動の実施（ヨークベニマルおやまゆうえんち店）
7月	・特殊詐欺防止啓発活動の実施 （おやまサマーフェスティバル 2023 盆踊りマルシェ）
8月	・特殊詐欺防止啓発活動の実施（JR 小山駅）
9月	・特殊詐欺防止啓発活動の実施（城南祭）
10月	・特殊詐欺防止啓発活動の実施（ヨークベニマルおやまゆうえんち店）
12月	・特殊詐欺防止啓発活動の実施（小山商工会議所青年部主催イベント） ・栃木県高等学校家庭クラブ連盟 第72回研究発表大会
1月	・キャリア教育発表会
2月	・令和5年度交通安全・防犯・暴力追放市町民大会 小山警察署・小山地区防犯協会から感謝状贈呈
3月	・活動まとめ

実施概要

学校家庭クラブ委員会での活動を中心に、学校全体で協働して実施。

活動レポート

■ 5月18日（木）13：00～15：00

間々田ひも 組紐体験講習会の実施

（講師：間々田ひも店 様）

特殊詐欺防止啓発活動で配布を予定している啓発グッズのひとつ、「間々田ひもストラップ」の制作を目的に、間々田ひも店による組紐体験講習会が実施された。当日は、家庭クラブ員 28 名が参加した。

「間々田ひも」は日本の歴史と伝統を受け継いだ江戸系の組紐に、戦後間々田の渡辺浅市が創意工夫を加え創案したもの。草木染めならではの落ち着いた色合いが魅力で、手で丹念に組みあげて作るので使い心地もよく、帯締めや羽織ひもに最適と人気を得ている。2001年9月19日、栃木県の伝統工芸品に指定される。

講師より、ひもの組み方のコツを教えていただきながら、一人ずつ組紐製作を行った。

地元小山市の伝統工芸とはいえ初めて体験する生徒が多く、真剣に取り組んでいた。また、出来上がったストラップが特殊詐欺防止啓発活動の一環として高齢者の手に渡るということで、丁寧に作業を行う様子が見られた。

【生徒の感想(抜粋)】

- 作業は丁寧に行わないと、ゆるんだりねじれたりして難しかった。昔ながらの伝統工芸を実際に体験できたことは大変貴重だった。出来上がった組紐は、とても可愛く仕上がった。
- 地元に住んでいながら、「間々田ひも」という伝統工芸品を知らなかった。講師の方々のおかげで楽しく取り組むことができた。
- 初めて知った伝統工芸だった。映画の「君の名は」で組紐が出ていたことを知り、さらに興味がわいた。講師の方から、「無心になるとよい」と教えていただき無心で取り組んだ。

【講習会の様子】



■ 5月22日（月）16：45～17：45

小山警察職員による「特殊詐欺防止啓発勉強会」の実施

（講師：栃木県小山警察署 生活安全課 生活安全係長 手塚芳夫 様）

特殊詐欺について正しい知識を得て自分自身を守ると同時に、家庭や地域社会の中で特殊詐欺を防止する行動や防止啓発活動が行えるよう学びを深めることを目的に、小山警察署員による講義が実施された。当日は、家庭クラブ員10名が参加した。

講義では、栃木県や小山市内の特殊詐欺被害の状況、小山市内で発生した特殊詐欺の事例について講師から説明があった。

【小山市の被害状況】

- ・2023年に入ってからの特種詐欺認知件数 5件、被害総額約1,800万円(4月末時点)
- ・最も多いのは架空請求詐欺
- ・電話やメールから被害につながるケースが多いため、固定電話を留守番電話設定にすることが被害防止につながる

生徒からは、「受け子など、加害者になってしまう理由」、「被害に遭った際、まずどうしたらよいか」、「なぜ高齢者が狙われるのか」など、様々な質問があがった。

短い時間ではあったが、小山市内の被害状況などから特殊詐欺について理解を深めることができ、今後の活動に向けて大変有意義な勉強会であった。

【生徒の感想(抜粋)】

- 高校生にできる身近な取組みとして、「家族で合言葉をつくとよい」とのアドバイスがあり、さっそく家族で話し合いたいと思った。
- 固定電話を留守番電話設定にすることが被害防止につながることを知り、とても勉強になった。
- 小山市の「特殊詐欺」の被害状況について知り、実際に身近に起きていることだと改めて思った。
- 私たちが活動することで、1件でも特殊詐欺被害を減らせたらと思った。

【勉強会の様子】



■ 6月 啓発グッズの制作（間々田ひもストラップ・チラシなど）

家庭クラブ委員会を中心に、間々田ひもストラップ、マルチケース、啓発グッズ（活動用キャップ、チラシ）の制作を行った。

地域の伝統工芸品を活用したり、多くの人の目につきやすいオリジナルデザインを考えたりすることで、地域の方々の特殊詐欺防止への意識を高めてもらうことに寄与する啓発グッズに仕上がった。

【間々田ひもストラップ】



【マルチケース】



【活動用キャップ】



【チラシ 表・裏】

地域の皆さんへ

**その電話! そのメール!
大丈夫ですか!?**

架空料金請求詐欺
オレオレ詐欺
預貯金詐欺
返付金詐欺

留守番電話設定に!!

MAKIBAGI・SAGI・USAGI

**特殊詐欺
に注意!!**

警察相談専用電話 **#9110**

ワン! クッションで詐欺を防ごう!

【動画を見て詐欺防止!】全国銀行協会公式 YouTube チャンネル▶

栃木県立小山城南高等学校 家庭クラブ
2023年度 特殊詐欺防止啓発活動 ●支援：一般社団法人全国銀行協会

高校生の皆さんへ

それ、犯罪につながります!!

騙されたい!!

情報教えない!!

稼げるバイトあります!

MAKIBAGI・SAGI・USAGI

**特殊詐欺に
ゼツタイ
加担しない!!**

栃木県立小山城南高等学校 家庭クラブ
2023年度 特殊詐欺防止啓発活動 ●支援：一般社団法人全国銀行協会

■ 6月8日（木）10：55～11：45

小山市職員による「おやま・まちづくり出前講座」の実施

（講師：小山市市民生活部 市民生活安心課 主幹 塩谷憲彦 様）

特殊詐欺について正しい知識を得て自分自身を守ると同時に、家庭や地域社会の中で特殊詐欺を防止する行動や防止啓発活動が行えるよう学びを深めることを目的に、小山市職員による「おやま・まちづくり出前講座 特殊詐欺防止について」の講義が実施された。当日は、3年マナー研究授業選択の生徒37名が参加した。

はじめに、高校生が特殊詐欺防止啓発活動に取り組む意義について伝えられた。

高校生の発想による啓発グッズの制作や活動は、被害の減少効果が期待されること、また、活動を通して高校生の防犯意識が向上し、若い世代が特殊詐欺の加害者にならないことにも寄与することが伝えられた。

講義では以下5つの内容について伝えられた。

1. 特殊詐欺の手口について
 2. 被害の事例
 3. 栃木県と小山市の状況
 4. 特殊詐欺の被害対象者（被害に遭いやすい人）
 5. 被害に遭わないための対策
-
1. 特殊詐欺の手口について
 - ・振り込め詐欺（オレオレ詐欺、架空料金請求詐欺、融資保証金詐欺、還付金詐欺）
 - ・預貯金詐欺
 - ・キャッシュカード詐欺盗
 - ・金融商品詐欺
 - ・ギャンブル詐欺
 - ・交際あっせん詐欺
 2. 被害の事例

6月7日（水）佐野市で、92歳の女性宅においを名乗る男から「仕事でお金が必要だ」と電話があり、話を信じた女性が現金約4,000万円をだまし取られる「オレオレ詐欺」が発生したことが伝えられた。
 3. 栃木県と小山市の状況

栃木県内の2023年に入ってからの特殊詐欺認知件数は34件、被害総額は約1億950万円（4月末時点）、小山市では5件、被害総額約1,800万円（4月末時点）の被害が発生。最も多いのは架空料金請求詐欺で、オレオレ詐欺、キャッシュカード詐欺盗が続いている。（出典：「許すな特殊詐欺」令和5年5月号 栃木県警察本部 生活安全企画課）
 4. 特殊詐欺の被害対象者（被害に遭いやすい人）

2021年のデータでは、被害者の88.2%が65歳以上の高齢者で、68.7%が高齢女性であることが伝えられた。

 - ①オレオレ詐欺・預貯金詐欺・キャッシュカード詐欺盗
お金やキャッシュカードの受け取り役（受け子）が被害者宅に訪問するので、不審者（電話をしながら徘徊、体形に合わないスーツ姿の若者等）を見かけた時は、警察に通報。
 - ②架空料金請求詐欺
携帯電話をかけながらATM操作をしている高齢者を見かけたら、銀行員や店員に知らせる。
 - ③還付金詐欺
コンビニなどで電子マネーを大量購入しようとしている人（高齢者だけでなく若者も）を見かけたら、店員に知らせる。
実際に、コンビニでアルバイトをしている高校生が、プリペイドカードを購入する高齢者を不審に思い警察に通報することで被害を防ぐことができた事例なども伝えられた。

5. 被害に遭わないための対策

- ・ 犯人と話さない（電話に出ない）
- ・ 加入電話（家の電話）は、いつも留守番電話にしておく
- ・ 迷惑電話防止機能付電話を利用する
- ・ 個人情報の管理をしっかり行う

また、栃木県警察本部によると、特殊詐欺に関連する少年の逮捕者が急増していることから、先輩や友人から「楽をして稼げる」、「高額なバイトがある」など誘われてもきっぱり断り、犯罪に加担してしまわないよう伝えられた。

「なぜ、若者が安易に犯罪に加担してしまうのか」という生徒からの質問に、「闇バイトを犯罪だと思っていない、簡単にお金を稼ぐ方法があると思っている若者が多いからではないか」とのこと。改めて自分が被害者にも加害者にもならないように注意する重要性が伝えられた。

最後に、2022年4月から成年年齢が18歳になったことを踏まえ、「これから成年になるキミたちへ オトナ消費者へステップアップ！ 小山市消費者センター」が配付され、18歳になったらできることなど確認してほしい旨伝えられ、講義は終了した。

【生徒の感想(抜粋)】

- 詐欺の手口・種類について理解できた。先日も近隣の市で4,000万円の被害があったと聞いてとても驚いた。被害に遭うのは高齢者が多いということで、若者が詐欺に遭わないための呼びかけをしたり、一緒に対策をしたりすることで、少しでも詐欺被害を減らすことができたらと思った。
- インターネットやSNSがどんどん進化を続け、さらに詐欺の手口が巧妙になることも想像できるので、本当に怖いと思った
- 自分が絶対に加害者にならないように、異変を感じたら警察に通報したりするなど、自分でできることをしたいと思った。
- 自分と同世代が特殊詐欺に気づき、それを止めるための行動をしたという事例を聞き、自分たちが被害を防止できることもあると勉強になった。

【講義の様子】



■ 6月13日（火）11：00～13：00

特殊詐欺防止啓発活動の実施（思桜会輪投げ大会）

小山市体育館で行われた「思桜会輪投げ大会」において、特殊詐欺防止啓発活動を実施した。家庭クラブ会長・副会長の2名が参加し、啓発グッズ（マルチケース）の配布を行った。

小山市老人クラブ連合会（思桜会）は、小山市高齢生きがい課が事務局となり、老人クラブ活動を支援しているもので、「1、高齢者の生活を豊かで楽しくする」、「2、地域社会を豊かにする」、「3、明るい長寿社会づくりをすすめる」ために、老人クラブとして様々な活動を行っている。

4年ぶりに開催された輪投げ大会には地域の方が多数参加されており、輪投げ大会終了後一人一人に啓発グッズを手渡し、特殊詐欺防止を呼び掛けた。

【生徒の感想(抜粋)】

- 高齢者の方々のイベントに参加させていただき、直接特殊詐欺防止を呼びかけることができ、貴重な経験になった。
- 家庭クラブ員が一生懸命作ったマルチケースを、大会の上位者に配布することができた。マルチケースを見て、特殊詐欺の被害に遭わないことを意識してもらえたと思った。

【活動の様子】



■ 6月15日（木）16：00～17：00

特殊詐欺防止啓発活動の実施（ヨークベニマルおやまゆうえんち店）

ヨークベニマルおやまゆうえんち店入口前で、小山警察署員と合同で「特殊詐欺防止啓発活動」を、年金支給日（原則、偶数月の15日）に合わせ実施した。

活動に参加した生徒4名は、商業施設を訪れた来店者に「特殊詐欺には気をつけてください」と声がけをしながら、小山警察署が作成した啓発グッズやチラシの配布を行った。

【生徒の感想(抜粋)】

- 年金支給日なので、積極的に特殊詐欺の被害防止の呼びかけを行った。最初は立ち止まってくださる方も少なかったが、小山署の方にアドバイスをいただき、声のかけ方を工夫した。地域の方とコミュニケーションをとれたことも良い経験だった。
- 普段はできないような貴重な経験ができた。恥ずかしさや緊張もあったが、警察の方と一緒に一生懸命声かけができた。とても楽しかった。

【活動の様子】



■ 7月29日（土）15：00～17：30

特殊詐欺防止啓発活動の実施（おやまサマーフェスティバル 2023 盆踊りマルシェ）

小山市役所西側駐車場で行われた「おやまサマーフェスティバル 2023 盆踊りマルシェ」において特殊詐欺防止啓発活動を実施した。家庭クラブ会長・副会長他10名が参加し、啓発グッズ（チラシ、汗拭きシート、冷却パック）の配布と特殊詐欺に関するアンケートを行った。

小山市最大のイベント「おやまサマーフェスティバル」。ここ数年は新型コロナウイルス感染症の影響で中止や分散での開催だったが、今年は7月30日（日）に通常開催が決定。「盆踊りマルシェ」はこの前夜祭として実施された。

キッチンカーの出店や市民団体によるステージイベントが行われたこともあり、開始直後から多くの来場者が訪れた。

生徒たちは、本活動の説明や特殊詐欺の被害防止を訴え、啓発グッズの配布を行った。また、特殊詐欺に関するアンケートも実施した。アンケートに協力いただいた来場者には、間々田ひもストラップの配布も行った。

啓発グッズを受け取った来場者は、特殊詐欺の具体的な手口などを生徒から聞くことで、特殊詐欺被害を身近なものとして捉え、被害に遭わないためにどうすればよいか考える機会になったようだ。

【生徒の感想(抜粋)】

- チラシや啓発グッズの配布を通して、地域の皆さん一人一人に気をつけてほしいと強く思った。また、実際に被害に遭われた方ともお話ができ、とても身近な問題だと改めて感じた。
- 猛暑の中ではあったが、自分たちで考え、製作したチラシやグッズを配布できたことは、とても達成感があった。このような活動に参加できてとても良い経験になった。
- 生徒同士協力して、地域の方々に積極的に声をかけることができた。小さい子どもから高齢者の方まで多くの方々と交流し、楽しく活動することができた。

【活動の様子】



■ 8月10日（木）10：00～11：00

特殊詐欺防止啓発活動の実施（JR 小山駅）

JR 小山駅で、小山警察署と合同で「特殊詐欺防止啓発活動」を実施した。

活動に参加した生徒9名は、JR 小山駅の利用客や駅直結の商業施設「VAL 小山」を訪れた来店者に、「特殊詐欺には気をつけてください」と声かけをしながら、啓発グッズ（チラシ、汗拭きシート、冷却パック）や小山警察署が作成したチラシの配布を行った。

【生徒の感想(抜粋)】

- 小山駅を利用される方々に積極的に声をかけた。自分たちのチラシを見て、少しでも気をつけようという気持ちになってもらえたらと思う。
- 小山警察署の方々と啓発活動ができたことは大変貴重な経験だった。高齢者や学生など、特に特殊詐欺の被害者や加害者になってしまう可能性のある人たちに、呼びかけができたことも良かった。
- 地域の方から「頑張ってるね」と声をかけてもらい、とても嬉しかった。

【活動の様子】



■ 9月2日（土）9：30～14：00

特殊詐欺防止啓発活動の実施（城南祭）

令和5年度小山城南高等学校学校祭（城南祭）一般公開日に、特殊詐欺防止啓発活動を実施した。これまでの特殊詐欺防止啓発活動の様子を展示し、来校者に特殊詐欺の種類や手口の説明、啓発グッズ（チラシ、汗拭きシート）の配布、特殊詐欺に関するアンケートを行った。

城南祭は隔年実施で、一昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で一般公開は中止されたが、今年度は3年ぶりに実施された。

家庭クラブでは202教室を会場に掲示物を展示。また気軽に立ち寄ってもらうために本活動で使用しているオリジナルキャラクターの的当てゲームを作成し設置した。

生徒たちは4～5名一組で当番となり、一般公開時間中に交代しながら来校者の対応を行った。ゲームの順番待ちやゲームが終わった方に声をかけ、特殊詐欺被害防止を訴えた。本活動の説明を行った後、啓発グッズを手渡し、本活動で実施している特殊詐欺に関するアンケートにも協力いただいた。

生徒の家族や他校の生徒など、多くの方に特殊詐欺被害や本活動について知ってもらえるきっかけとなり、充実した活動となった。

【生徒の感想(抜粋)】

- これまでの活動を振り返りながら展示物を製作した。家庭クラブ員が協力し、準備の段階から充実した時間だった。ゲームを通して、地域の方と近くで交流できたことも大変良い機会だった。
- 学校祭には、多くの方が来校してくださり、家庭クラブの啓発活動を知っていただく機会となった。とても楽しい学校祭だった。
- 私たちが製作したチラシやポスターを見ていただけて嬉しかった。多くの方にゲームを楽しんでいただきながら、特殊詐欺防止啓発活動ができたことも良かった。

【活動の様子】



■10月13日（金）16：00～17：00

特殊詐欺防止啓発活動の実施（ヨークベニマルおやまゆうえんち店）

ヨークベニマルおやまゆうえんち店入口前で、小山警察署と合同で「特殊詐欺防止啓発活動」を、年金支給日（15日が日曜日のため13日）に合わせ実施した。

小山市内の2023年に入ってからの特種詐欺認知件数は6件、被害総額は約2,500万円（9月末時点）の被害が発生している。最も多いのは架空料金請求詐欺、次にキャッシュカード詐欺盗と融資保証金詐欺が続いている。（「栃木県内の特殊詐欺被害状況 令和5年1～9月」栃木県警察）

活動に参加した生徒5名は、商業施設を訪れた来店者に「特殊詐欺には気をつけてください」と声がけをしながら、啓発グッズ（カイロ・入浴剤）やチラシの配布を行った。

【生徒の感想(抜粋)】

- 初めて特殊詐欺防止啓発活動に参加した。高齢者の方が笑顔で答えてくださり、とても嬉しかった。今後、身近な高齢者にも特殊詐欺の被害防止を呼びかけたい。
- 最初、声をかけることが恥ずかしかったが、警察の方が優しく指導して下さったおかげで積極的に呼びかけをすることができた。少しでも、トラブルが減ったら良いと思った。
- 今日が年金支給日ということを知った。高齢者の方だけでなくまわりの家族も知ることが大切だと感じた。とても良い経験になった。

【活動の様子】



■12月3日（日）10：00～16：00

特殊詐欺防止啓発活動の実施（小山商工会議所青年部主催イベント）

小山商工会議所青年部主催イベントに、美術部、JRC※部と、家庭クラブ員12名が参加した。

小山市役所で行われた「産学官シンポジウム」では、「10年後の小山市」をテーマに行政や地域企業の方とグループディスカッションを行い、小山市長に提言を発表した。

御殿広場で行われた「小山 YEG まつり」では、小山商工会議所青年部に加盟する企業とともにブースを設置、美術部の作品展示や福祉教育の取組みを紹介した。

家庭クラブはJCB部の協力を得て、来場者に声かけなどしながらチラシや啓発グッズ（カイロ・入浴剤）の配布を行った。

地域への関心を深め、視野を広げることができた活動となった。

※：JRC：Junior Red Cross（青少年赤十字）の略

【生徒の感想(抜粋)】

- 来場者に声をかけるのが最初は難しかったが、自分なりに頑張れたと思う。初めての経験だったが、自分自身の成長にもつながったと思う。
- 特殊詐欺防止啓発活動を通して、日ごろ関わるのが少ない地域の方々と話をしたりすることができた。地域のヒーローやゆるキャラとも交流でき楽しい活動だった。

【活動の様子】



■12月8日（金）12：00～15：40

栃木県高等学校家庭クラブ連盟 第72回研究発表大会

栃木県高等学校家庭クラブ連盟 第72回研究発表大会が、那須野が原ハーモニーホールで実施され、県内の高等学校31校から約800名が参加した。

栃木県立小山城南高等学校は、4～12月までの特殊詐欺防止啓発活動について、以下の内容を発表した。

1. 実態把握と問題点の確認（小山警察勉強会、おやままちづくり出前講座）
2. 啓発グッズ制作
3. 地域に向けた啓発活動（小山警察合同啓発活動、地域イベント等での啓発活動やグッズ配布）
4. まとめと今後の課題

活動を通して栃木県や小山市内における特殊詐欺被害について理解を深め、詐欺の事例や具体的な対策方法を学ぶことができたことは大きな糧となったこと、今後、今年度の活動や経験を生かし、どのように継続していけるかを検討しながら取組みを進めていきたい旨、まとめとして発表された。

【生徒の感想(抜粋)】

- これまでの家庭クラブの取組みを、たくさんの方々に伝えることができた。私自身、この「特殊詐欺防止啓発活動」を振り返る機会にもなった。これからも継続して熱心に取り組んでいきたいと思った。
- 「特殊詐欺防止啓発活動」について、スライドを使ってわかりやすく説明することができた。家庭クラブ員が一丸となって頑張ってきたことを改めて感じた。このような大きな大会での発表機会をいただき嬉しかった。
- 大きな舞台での発表が初めてだったが、とても良い発表ができたと思う。毎日練習を重ねてきたが、これまでで一番良い発表だった。「特殊詐欺防止啓発活動」を多くの人に知ってもらえた。少しでも特殊詐欺被害が減ることを心から願っている。

【発表の様子】



■ 1月30日（木）9：00～12：00 キャリア教育発表会

キャリア教育発表会にて全校生徒と PTA の来場者を対象に、4～12 月までの特殊詐欺防止啓発活動について、以下の内容を発表した。

1. 実態把握と問題点の確認（小山警察署勉強会、おやままちづくり出前講座）
2. 啓発グッズ制作
3. 地域に向けた啓発活動（小山警察署合同啓発活動、地域イベント等での啓発活動やグッズ配布）
4. まとめと今後の課題

活動を通して栃木県や小山市内における特殊詐欺被害について理解を深め、詐欺の事例や具体的な対策法を学ぶことができたこと、多くの人に特殊詐欺防止について伝えることができ達成感が大きかったこと、自分自身の成長にもつながり、地域貢献にもなることから、次年度以降も本活動を継続して行ってほしい旨が伝えられた。

【生徒の感想(抜粋)】

- 家庭クラブの活動の成果を全校生徒の前で発表できたことは、とても貴重な経験となった。多くの高校生に、特殊詐欺被害の現状に危機感を持ってもらい、家族や身近な人たちにもこの活動を伝えてほしいと思った。
- 発表後、先生方からお褒めの言葉をいただけて嬉しかった。たくさん練習して臨んだので、達成感や充実感があった。
- たくさんの人の前で緊張したが、満足のいく発表ができた。私たちは、もうすぐ卒業になってしまうけれど、後輩たちにもこの活動を続けて行ってほしいと思った。

【発表の様子】



■ 2月3日（土）14：00～16：30

令和5年度交通安全・防犯・暴力追放市町民大会

小山警察署・小山地区防犯協会から感謝状贈呈

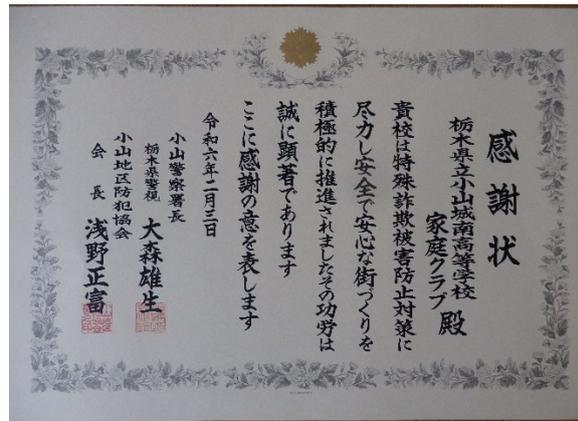
今年度の特殊詐欺防止啓発活動（小山市内における特殊詐欺防止啓発キャンペーンなどへの協力、啓発グッズの制作や配布、学校内での啓発活動の実施など）に対して、小山警察署・小山地区防犯協会より感謝状が贈呈された。

地域の防犯に貢献する取組みとして表彰されたことで、本活動の重要性を改めて確認することができた。

【生徒の感想(抜粋)】

- 小山警察署長より感謝状をいただいた。緊張したが、貴重な機会をいただき、大変感謝している。会場には、交通安全や防犯活動に尽力されている地域の方々が列席されていた。地域の一人一人の力が、小山市の安心な生活にとって欠かせない大きな力となることを実感した。

【贈呈式の様子】



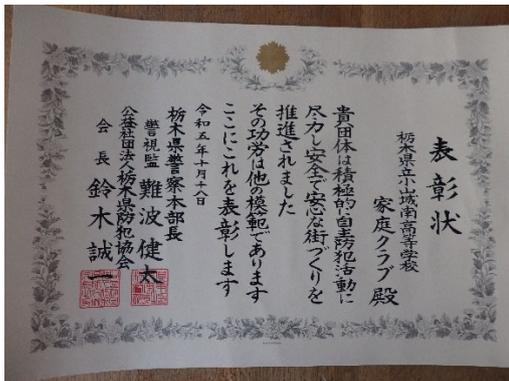
* 2023年10月18日（水）には、防犯功労団体として栃木県警察本部・公益社団法人栃木県防犯協会より表彰。

■各媒体における紹介

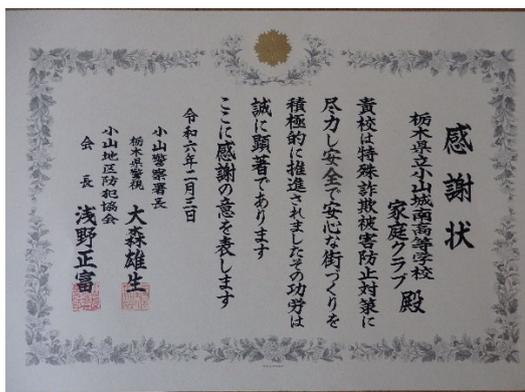
- 下野新聞 2023年8月11日（金）「サギ」にご用心 高校生らチラシ
- 下野新聞ウェブサイト 2023年8月11日（金）
“サギ”イラストで“詐欺”防止呼びかけ 県警、小山城南高生らが駅で広報活動
- NHK とちぎ 630 2023年8月11日（金）18:33~18:35
特殊詐欺被害防ぐ方法 お盆休みに話し合おう

■活動に対する表彰

- 2023年10月18日（水）
栃木県警察本部・公益社団法人栃木県防犯協会より防犯活動功労団体として表彰



- 2024年2月3日（土）
小山県警察署・小山地区防犯協会より感謝状の贈呈



■啓発グッズの配布実績

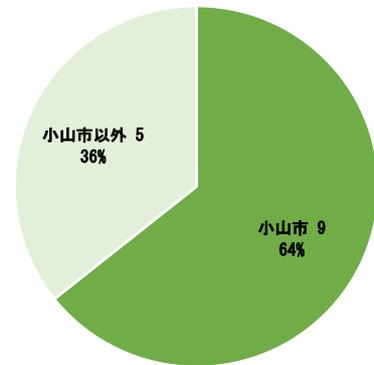
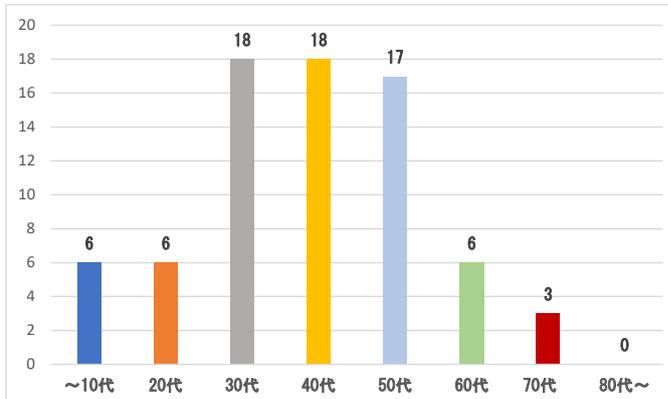
活動／配布先	日付	チラシ	汗拭きシート	冷却パック	除菌ティッシュ	間々田ひもストラップ	マルチケース	カイロ	マスク	入浴剤
特殊詐欺防止啓発活動 思桜会輪投げ大会	6/13 (火)						40			
特殊詐欺防止啓発活動 おやま盆踊りマルシェ	7/29 (土)	200	200	200		30				
特殊詐欺防止啓発活動 小山駅	8/10 (木)	100	100	100						
中央労働金庫小山支店	8/22 (火)	100								
城南祭（活動報告）	9/2 (土)	100	100							
特殊詐欺防止啓発活動 ヨークベニマル おやまゆうえんち店	10/13 (金)	100			100			100		100
認定子ども園小山幼稚園	11/6 (月)	30			30			30		30
医療法人社団友志会 介護老人保健施設空の舎	11/16 (木)	30			30			30		30
特殊詐欺防止啓発活動 おやま YEG まつり	12/3 (日)	150			150	40		150		150
小山市小山城南市民交流 センター（ゆめまち）	1/12 (金)	50			50			25	25	50
医療法人あい	1/15 (月)	50			50			25	25	50
小山城南高校 PTA	2/16 (金)	25			25			25	25	
小山城南高校 同窓会	3/21 (木)	25			25			25	25	
合計		960	400	300	460	70	40	410	100	410

■アンケートまとめ（2023年7～9月イベント等来場者に実施）

実施方法：QRコードを用いたWebアンケート 回答数：74

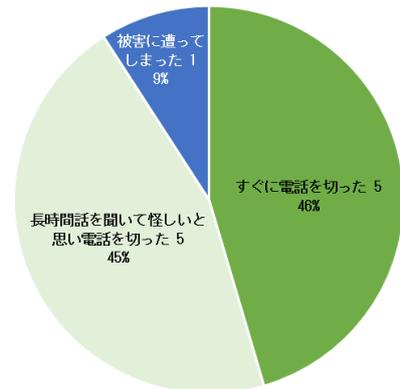
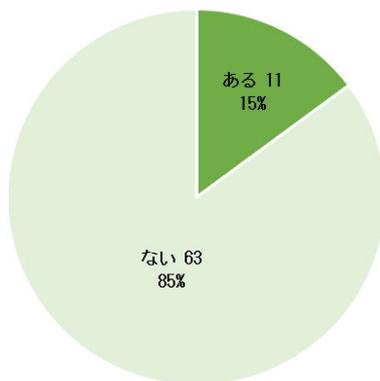
1. 年齢を教えてください（任意）

2. お住まいは小山市ですか（任意）



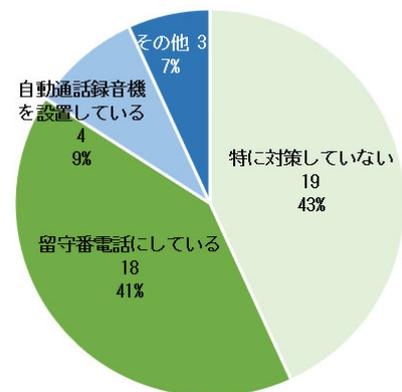
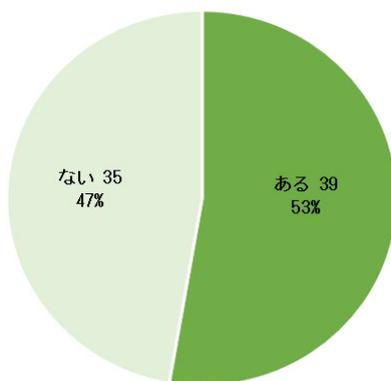
3. 今までにご自身やご家族が「オレオレ詐欺」など特殊詐欺と思われる電話を受けたことはありませんか

4. 3のような電話を受けたとき、どのような対応をされましたか（複数回答可）

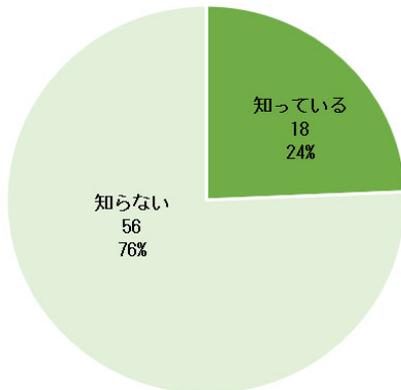


5. ご自宅に固定電話はありますか

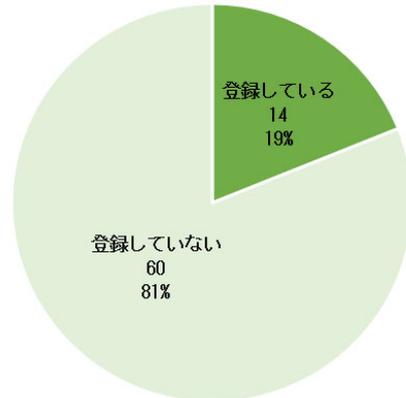
6. 固定電話に特殊詐欺防止の対策や工夫をしていますか（複数回答可）



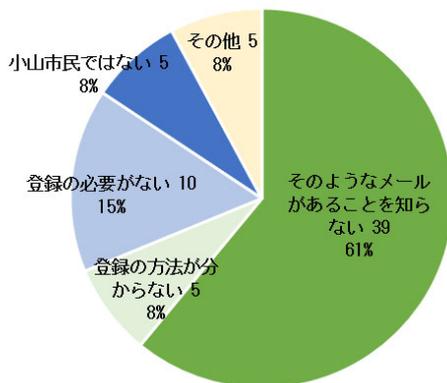
7. 小山市で「特殊詐欺対策電話機等購入費」の一部を補助する取組みが行われていることを知っていますか



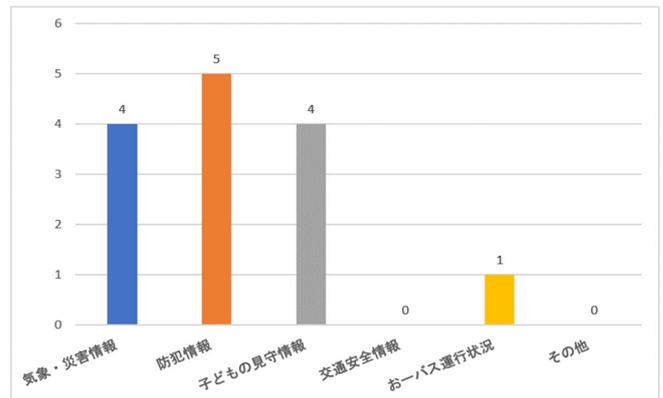
8. 小山市から配信される「小山市安全安心情報メール」を登録していますか



9. 登録していない場合は、その理由を教えてください（複数回答可）



10. 「小山市安全安心情報メール」で最も役に立っている情報を1つ選んでください



11. 日ごろから特殊詐欺被害防止のために行っていることがあれば、教えてください（任意）

- 怪しいと思ったら、ひとりで決断せずに家族や友人に相談するようにしている。
- 両親には定期的に電話やメールをして、気をつけるよう声をかけている。
- 両親には、自分から固定電話には連絡しないと伝えている。
- お金に困っているという旨の電話を自分からすることはないと、親に伝えてある。
- 固定電話は利用しない。携帯などで連絡を取る際は家族間で合言葉を決めておく。
- 知らない番号の電話には出ない。
- 非通知の電話には出ない。
- 企業などからの電話でも信用せず、折り返し電話をかけるようにしている。
- 怪しい電話が来たら何も聞かずにすぐに電話を切る。
- 怪しいメールは開かずに削除する。

■ 1年間のまとめ

この1年間、特殊詐欺防止啓発活動を行ってきた家庭クラブ員と担当の田淵教諭に、1年間の活動について振り返ってもらった。

〈生徒の振り返り〉

①活動を通して学んだこと、気づいたこと

特殊詐欺の深刻さや被害状況を深く知ることができた。活動を行う前は、特殊詐欺は高校生の私たちとは無関係のことだと考えていた。しかし、警察や市役所の方から話を聞いたり、実際に被害防止を呼びかけて地域の方々と話をする中で、誰にでも特殊詐欺の被害に遭う可能性があることを学んだ。活動の中で気がついたことは、特殊詐欺の被害に遭いそうになった方が想像よりもたくさんいたことだ。地域の方々の実体験を聞き、身近な問題であると改めて感じ、日ごろからの対策が重要だと思った。

②活動を通して頑張ったこと、自分の成長や社会への貢献を実感したこと

さまざまな場所に出向き活動を行った。地元の駅や地域イベントで私たちが作成したチラシや啓発グッズを配布したり、警察の方々と連携して呼びかけをしたり、積極的に行動することによって、特殊詐欺の危険性を多くの方々に伝えることができたと考えている。活動を通して、地域の方々から応援の声をいただくこともたくさんあった。地域の方々の温かさを感じるとともに、大きなやりがいを感じた。また、家庭クラブ全体としての活動に対する意識も高まり、校内の家庭クラブ活動を盛り上げることができたと思う。

③これからの生活の中で実践していきたいこと

これからも、この活動で学んだことを多くの人に伝え、広めていきたい。また、私自身も特殊詐欺の被害に遭わないよう気をつけたいと思う。学校の先生方や警察の方々、地域の方々など多くの人々の支えがあってこの活動が行えていること、貴重な経験ができたことに改めて感謝し、少しでも多くの人にこの活動が広まってほしいと思う。

そして、誰に対しても感謝の気持ちを忘れず、この活動で学んだ多くのことを生かしてよりよい生活を送っていきたい。

〈担当教諭の振り返り〉

本校は、全校生徒約600名の総合学科の高校である。家庭クラブは、家庭科の科目を学ぶ生徒で構成されており、全校生徒の約半数が家庭クラブ員として活動している。活動内容としては、近隣の認定こども園や高齢者施設、子ども食堂などとの地域交流が盛んである。しかし、コロナ禍であったここ数年は、活動の機会も減っていた。そのような中で、一般社団法人全国銀行協会様より「2023年度 特殊詐欺防止啓発活動」の委嘱を受け、大変貴重な活動の機会をいただいた。

私たちは、「特殊詐欺防止啓発活動」を地元地域で実践することを通して社会貢献をしたいという思いと、多くのクラブ員が活動に参加し、本校家庭クラブの活性化を図りたい、という思いでこの活動を進めた。活動にあたり、小山警察署や小山市役所をはじめ、地域や外部との連携が不可欠であったが、こちらから活動の趣旨を説明すると、快く協力していただき大変ありがたかった。

事前学習では、地元の小山警察署や小山市役所の方々から直接お話を伺った。特殊詐欺の種類や被害状況について詳しく教えていただき、想像を超える特殊詐欺の被害件数や被害額に、生徒たちは大変驚いた様子であった。その後、栃木県警察本部の「特殊詐欺被害防止

啓発動画」を視聴し、詐欺の巧妙な手口を理解した。これらの学習を通して、生徒たちは特殊詐欺を身近なこととして捉え、自分たちに何ができるのかという視点で考えられるようになり、具体的な防止策について生徒同士で話し合うまでになった。

オリジナルのイメージキャラクターやチラシ、啓発グッズの制作には、約2か月間を要した。キャラクターやチラシのラフを作る際は、多くの生徒がアイデアを出し合い、グッズ作りでは、制作の得意な生徒が中心となって主体的に活動した。各々の得意なことや好きなことを活かしながら協働し、やりがいを見出して活動している姿が見られた。また、生徒自身のアイデアが実際に形になることにも達成感があったようだ。

その後、警察署や市役所、観光協会の方々に協力を仰ぎながら、地域イベントや街頭活動に参加した。特殊詐欺被害の現状について理解を深めていた生徒たちは、地域の方々に対して自分の言葉で特殊詐欺の被害防止を訴えることができた。地域の方々と繋がる経験を通して、社会の一員としての自覚も芽生えたことと思う。

さらに、地域の方々向けにアンケートを実施したことで、地域の方々に対する、具体的な被害防止策を考えられたことも大変有意義であった。そして、これらの取組みを評価していただき、防犯功労団体として本校家庭クラブが表彰いただけたことは、身に余る思いである。

1年間の活動を振り返ると、私自身特殊詐欺について、具体的な被害件数や手口など初めて知ることも多く大変勉強になった。また、小山警察署や小山市役所の方々が、日ごろから特殊詐欺被害防止の活動に真剣に取り組まれていることを知り、私たちはもっと地域に目を向け、地域の活動に関心を持つ必要があると感じた。今後も、ぜひ地域の方々と連携し、活動を継続したい。生徒たちにもこの活動にはたくさんの学びがあり、一人一人の成長の機会となった。主体的・協働的な学びを通して身につけた力は、生徒の自信にもなったのではないだろうか。また、同時に自己理解を深めることができ、それぞれの個性を生かしながら集団で調和し、気持ちを一つに活動することができた大変有意義な1年間であった。

そして、最後にこの活動を支えてくださった多くの方々に心より感謝を申し上げたい。特に、一般社団法人全国銀行協会様より多大なるご支援をいただいたことで、充実した研究活動ができ、本校の家庭クラブ活動の活性化を図ることもできた。

改めてこの度は、このような機会を与えていただき心より感謝申し上げます。